

KAHF 役員の皆様

梅の香りから、やがて桜便りを心待ちにする季節になってまいりました。日頃はお世話になりましてありがとうございます。出来るだろうかと不安のまま奥田様のお誘いを受けてKAHFの会員になり、早三十年近くになりました。いつか子供たちに引継いで・・・と思っていましたが、市内から離れますとその思いもままならず、学生さんを引き受けないここ数年になってしまいました。この度、退会させていただきたくよろしくお願い致します。

グループ分けになった時、無力ながらも会計を引受けて、西先生にいろいろご指導いただきました。東北までも運転されるお車好きの先生と、行事の下見や市場へ買い出しにお供させていただきました。ボランティアとして「学生さんが喜ぶんです！」という先生の熱いハートを教わりました。グループの皆様とのファミリーなお付き合いに感謝し、心よりお礼申し上げます。

当初は熊野寮の学生さんを主に受け持ちましたが、年中Tシャツ姿のハングリー学生さんが多い事でした。KAHFの行事やお祭り、お正月と時計を忘れて夜遅くまで歓談いたしましたが、私共も若かったのですね。留学生をフォローする制度が未熟だった時代でもあり、転居の際に知らぬ間に保証人になっていたり、結婚、出産等、日本人としての立場を控えながらも共にびっくりしたり悩んだりしながらアドバイスしたことなど共に勉強したことでした。ソウさんの風邪鍋、リュウさんのいりたまご餃子、センさん砂ずりおつまみは我家の定番メニューです。京都で生まれたり結ばれた留学生夫婦の子供たちの成長の写真もうれしくて楽しみです。手作りのお弁当を持参した筍や芋掘り、バーベキュー、賑やかな新春パーティー等々、KAHF会員様との交流にもたくさんの思い出が出来ました。

とりわけ、祇園祭の船鉾拝観の後にどしゃぶりの夕立に会い、ずぶ濡れの浴衣姿でタクシーに断られて、我家の浴室に飛び込んだ時の五人の乙女達の笑い声が、夏を迎える度に私の耳の奥から呼び起こされます。

折にふれ若い人達にKAHFの活動を広めたいと思っています。また奥田様や笠井様から楽しい様子を聞かせていただきます。懐かしさがこみあげて思いのままパソコンでのご挨拶状になり失礼をお詫びいたします。

長い間楽しい時間を過ごさせていただき、お世話になり有難うございました。会員の皆様のご健康と、ますます楽しいKAHFの集いが開かれますよう祈念いたします。

平成二十八年三月

KAHF・B

城谷 誠樹
直江